

S I P 第 3 期「先進的量子技術基盤の社会課題への応用促進」
社会実装に向けた戦略及び研究開発計画の変更について

令和 6 年 2 月 22 日
先進的量子技術基盤の社会課題への応用促進
プログラムディレクター 寒川 哲 臣

今般、先進的量子技術基盤の社会課題への応用促進においては、研究開発計画の一部変更が生じたため、社会実装に向けた戦略及び研究開発計画の変更を行いたい。主な変更点は以下のとおり。

1. II. 社会実装に向けた戦略

「量子マテリアル・量子デバイス・量子センシング」に関する記述を統一。

「安心・安全」と記載されている部分を政府関連の文書に合わせ「安全・安心」と統一。

2. III. 研究開発計画

「(13) 【イノベーション創出基盤】D-3 アイデア発掘」の「②実施内容」のうち、「研究チーム D-3b : Q-LEAP 等の成果を広く提示し自ら体験できるコンテンツの開発」に係る内容を具体化。

以上